１３号書面のレイアウトや印刷内容を変えたい

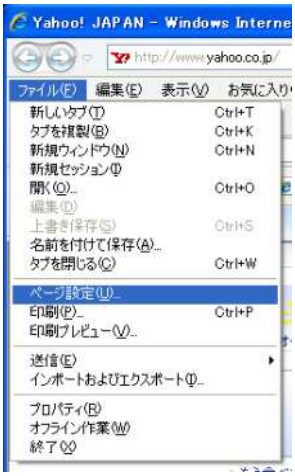
申請用総合ソフトから、特例方式において追完書類を提出する時に使用する「書面により提出した添付情報の内訳表」、いわゆる「１３号書面」を印刷することができるようになりましたが、この標準レイアウトには少々問題があり、例えば、代理人の「電話番号その他の連絡先」に、「(　)」や「－」を含めて１１桁を超える電話番号を入力していると桁あふれが生じてしまい、強制的に改行が入ってしまうので、見映えがよくありません。

申請人又は代理人の氏名又は名称（申請人又は代理人が法人であるときはその代表者の氏名を含む。）及び電話番号その他の連絡先	司法書士　何某 電話番号その他の連絡先　０００－０００－００００	印

2010 年 12 月 13 日に渋谷で行なわれた法務省による説明会でも、この点の改善要望が出されましたが、実現はしていませんでした。しかし、これを解消するのは、実は簡単な事なのです。

この「１３号書面」の印刷は、Internet Explorer の印刷機能を使って実行しており、この場合のページレイアウトは、Internet Explorer の「ページ設定」で設定された値を使っています。したがって、この値を適切に設定すれば、桁あふれを解消する事ができるのです。

この設定値を変更するには、Internet Explorer のメニューバーから、マウスで「ファイル(F)→ページ設定(U)」とクリックし、「ページ設定」の画面を呼び出します。



→

「１３号書面」や「受付のお知らせ」など、申請用総合ソフトから印刷される書面はすべて、この、「余白」欄で設定されている値でレイアウトが決定されて印刷されます。初期値（インストールしたときのままの値）では、すべて 19.5（単位は mm。以下同じ。ただし、コントロールパネルの［地域と言語のオプション］で、単位の設定を変更すればインチ表示にすることもできます）。になっていますので、これを変更すれば、レイアウトを変更する事ができます。

先ほど触れた電話番号の桁あふれを解消するには、左右の余白を初期値よりも狭くすればよいのです。例えば、左右の余白の合計を 17mm 以下（例えば左 11mm、右 6mm。どこまで小さくできるかは印刷に使われるプリンタに依存します）に設定すれば１３桁（「(　)」、「－」などの区切り記号を含む。以下同じ）でも桁あふれしませんし、１２桁なら左右の余白の合計を 31mm 以下（例えば左 25mm、右 6mm）にすれば桁あふれしません。

１３桁の例（左 11mm、右 6mm）

申請人又は代理人の氏名又は名称（申請人又は代理人が法人であるときはその代表者の氏名を含む。）及び電話番号その他の連絡先	司法書士　何某 電話番号その他の連絡先　０００－０００－０００	印

１２桁の例（左 25mm、右 6mm）

申請人又は代理人の氏名又は名称（申請人又は代理人が法人であるときはその代表者の氏名を含む。）及び電話番号その他の連絡先	司法書士　鈴　木　一　也 電話番号その他の連絡先　０００－０００－０００	印

他にも、ヘッダー・フッターの設定値を変える事によって、「受付のお知らせ」や、申請用総合ソフトから申請書を印刷した時に、用紙の上下に表示される内容を変える事ができます。初期設定値のままだと左上に文書のタイトル（申請書や「受付のお知らせ」では何も印刷されません）、右上にページ数/総ページ数、左下に印刷されたファイルのファイルパス（とても長いので、全部は表示されません）、右下に印刷された日付が印刷されます。内部文書（申請書の控えなど）ならこのままで問題ありませんが、「受付のお知らせ」の場合はちょっと困ります。ページ設定の「ヘッダーとフッター」の値を適切に設定すればいろいろな値を表示させることができ、「－空－」と設定すれば何も表示されないように設定できます。

値を設定するには、入力窓の右隅の∨をマウスでクリックし、表示された中から選択します。

ヘッダー・フッターに設定できる値と印刷される内容は以下の通りです

設定値	印刷される内容
－空－	何も印刷しない
タイトル	ウィンドウタイトル
URL	ページのアドレス(URL)
ページ番号	現在のページ番号
ページ番号/ページ総数	ページ番号/総ページ数
ページ総数	総ページ数
日付(短い形式)	短い形式の日付(コントロールパネルの[地域と言語のオプション]での指定されている形式)
日付(長い形式)	長い形式の日付(コントロールパネルの[地域と言語のオプション]での指定されている形式)
時刻	時刻(コントロールパネルの[地域と言語のオプション]で指定されている形式)
時刻(24 時間形式)	24 時間形式の時刻
カスタム	下表の通り

「カスタム」を指定するとさらに右のような入力画面が開き、入力窓に下表の書式に従って入力すれば、それぞれの文字列に対応した内容が印刷されます。設定値は複数の値を入力する事もできます。

設定値	印刷される内容
&w	ウィンドウタイトル
&u	ページのアドレス(URL)
&d	短い形式の日付(コントロールパネルの[地域と言語のオプション]での指定と同じ)
&D	長い形式の日付(コントロールパネルの[地域と言語のオプション]での指定と同じ)
&t	時刻(コントロールパネルの[地域と言語のオプション]で指定する形式)
&T	24 時間形式の時刻
&p	現在のページ番号
&P	総ページ数
&b	右揃えの文字列(&b に続けて文字列を入力)
&b&b	中央揃えの文字列(&b と&b の間に文字列を入力)
&&	アンパサンド(&)

「受付のお知らせ」を受領証として使う場合は、何も表示しない方がよいでしょう。その場合はすべて［－空－］を指定しておけばよいのです。

また、ここで設定した値はそのまま維持され、変更したい場合は改めてページ設定の画面を呼び出して値を変更しなければなりませんので、印刷する書面に応じて変更して印刷するという使い方はむずかしいでしょう。